



あなたはどんな農具を使っていますか？

農具はかつて「村の鍛冶屋さん」が、農作業の用途や土質に適した形に作り上げた道具です。そのため地域によって形状がさまざま。そろえておきたい代表的な農具を紹介します。

「土起こし作業」(図1)

荒れた畑は土が固く締まり、草の根がはびこっています。このような畑を起すには、備中鍬びちゅうくわか唐鍬からくわを使います。備中鍬は3、4本の爪に分かれ、粘土質の畑でも土離れの良い刃型で、芋の掘り起こしにも重宝します。唐鍬は1枚の細身で肉厚の刃で、頑丈なの

図1 土起こし作業



で荒起こしに向きます。

スコップは土を運ぶ、穴を掘る、堆肥・肥料を土と混ぜるなどに使い、先のとがった剣先スコップけんせんは穴掘り作業に、先が平らな角スコップは運ぶ、混ぜる作業に適しています。

「畝立て作業」(図2)

平鍬は1枚の刃が付き、耕す、整地をする、溝を掘る、畝を立てる、土寄せするなどほとんどの作業がこれ1本でできます。平鍬の背側や側面を使って、整地作業もできます。長さや重さが体や体力などに合った物を選

図2 畝立て作業



びましょう。農具を一つ選ぶとすれば、万能の平鍬です。また、効率良く整地作業をするには、熊手のようなレーキを使います。土中の雑草の根なども除去できます。最後に、畝をきれいに仕上げるには、板切れ(端材)を使い、表面をならします。

「除草、土寄せ作業」(図3)

草刈りには、片手鍬、ホーとも呼ばれる半月形や三角形の軽量の鍬があります。柄が長く立ち姿勢で作業ができる三角鍬は、土寄せ、溝切りにも使えます。

草刈りには平鎌を使います。伸びてきた草を片手でつかみ、鎌先を地際から手前に引いて切断します。のこぎり鎌は、堅い草を刈り取るのに向いています。

図3 除草、土寄せ作業



つるんと濃厚

いちごヨーグルトの寒天

材料

いちご	4個
プレーンヨーグルト	100g
グラニュー糖	25g
粉寒天	1g
水	50ml

作り方

- 1 イチゴのヘタを取って、形がなくなるまでフォークでつぶす。
- 2 鍋に①と水と粉寒天を入れてよく混ぜる。
- 3 ②を火にかけ、1分沸騰させて寒天を溶かす。
- 4 ③にグラニュー糖を加え、溶けたら火を止める。
- 5 ④にヨーグルトを入れ、よく混ぜてから器に注ぐ。
- 6 冷蔵庫で3時間程度冷やしたら完成。

上にいちごを飾ったら
写真映えるデザートに!

